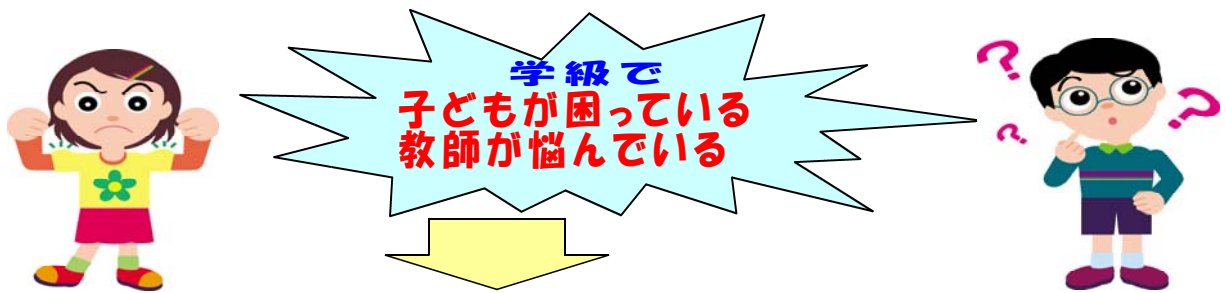


1 気付きから支援へ

(1) 気付きから支援へのステップとシートの活用



ステップ1
学級担任が支援するために

ポイント

- ・困っていることの整理
- ・子どもについての情報収集
(本人・保護者の願い)
- ・具体的な支援の方法の検討

子どもの困っている様子等を整理します。担任ができる支援内容を話し合います。
(例：シート1の活用)

これが大切です!

- ・コーディネーターや他の先生方に相談しながら行います。

学級担任だけでは十分に支援できない場合は、次のステップへ

ステップ2
校内で支援するために
(校内委員会での検討)

ポイント

- ・子どもの現状と支援の検討
- ・校内リソース(資源)の確認
- ・各リソースで支援できることの検討

校内委員会で、支援者と支援内容を話し合います。
(例：シート2の活用)
個別指導計画を作成します。

これが大切です!

- ・校内リソースを明確にし、それぞれができることを検討します。

校内支援では十分に支援できない場合は、必要に応じて次のステップへ。
その際には、必ず保護者の同意が必要です。

ステップ3
校外の機関と連携して支援するために
(外部機関を含めた校内委員会での検討)

ポイント

- ・必要としている支援の検討
- ・地域のリソース(資源)の確認
- ・助言を踏まえ校内リソースの再検討

保護者と連携し、地域の関係機関を交えた校内委員会や支援会議を行います。この会議で、話し合いのツールとなるのが「個別の教育支援計画」です。(例：シート3活用)

これが大切です!

- ・校内、地域のリソースに何を求めるかを明確にして検討します。